

米子市公立小中学校における英語教育の実施状況について

1. 外国語教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けた移行措置

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
					小学校全面実施	
					中学校全面実施	
		※平成29年度中に必要な教材を配布	※平成30年度中に必要な教材を配布		※年次進行で実施	高等学校
平成17年度生まれ～	小6(35)	中1	中2	中3	高1	高2
平成18年度生まれ～	小5(35)	小6(+15 → 50)	中1	中2	中3	高1
平成19年度生まれ～	小4	小5(+15 → 50)	小6(+15 → 50)	中1	中2	中3
平成20年度生まれ～	小3	小4(+15)	小5(+15 → 50)	小6(70)	中1	中2
平成21年度生まれ～	小2	小3(+15)	小4(+15)	小5(70)	小6(70)	中1
平成22年度生まれ～	小1	小2	小3(+15)	小4(35)	小5(70)	小6(70)
平成23年度生まれ～	年長	小1	小2	小3(35)	小4(35)	小5(70)

 …外国語活動移行措置
 …外国語科移行措置
 …中学校移行措置
 ※中学校の時数は現行と同様、年間140単位時間程度。
 ※生まれ年度はイメージとして示している。

令和2年度全面実施の新学習指導要領では、小学校5・6年生における外国語科を新設（現行の外国語活動 年間35時間→外国語科70時間）、3・4年生における外国語活動を新設（現行0時間→年間35時間）することになっている。ただし、既存の教科・領域の配当時間数は変わらないため、時間数の確保が全国的な課題となっている。

現在、米子市立小学校では、令和2年度からの全面実施に向け、移行措置（小学校5・6年生において年間50時間、3・4年生において年間15時間実施）を行っている。

2. 令和元年度の米子市公立小中学校における外国語・外国語活動に係る加配等配置について

(1) 「小学校英語専科加配」配置校

3校…米子市立住吉小学校、米子市立福米西小学校、米子市立福生東小学校
 （「外国語活動」を専科指導するために活用）

(2) 「小学校専科加配」配置校

1校…米子市立加茂小学校（一部「外国語活動」を指導するために活用）

(3) 「外国語活動支援員（県配置の非常勤講師）」配置校

21校

(4) 「ALT」配置人数

6名（市内全小・中学校を6グループに分けて巡回指導を実施）

3. 全国学力・学習状況調査における中学校英語「話すこと」に関する調査の実施

文部科学省は、平成29年3月の「全国学力・学習状況調査における中学校の英語の実施に関する最終報告」において、生徒の英語力、特に、「話すこと」「書くこと」などの発信力に関する課題や、地域による取組の差などを踏まえ、生徒の英語力を適切に把握し、その分析結果を活用して指導・評価の改善を促すべきとの提言を行った。その上で、平成31年度全国学力・学習状況調査の中で中学校英語調査（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）を行う方針を示した。

なお、「話すこと」に関する問題は、初めて各学校のコンピュータ教室等のPC端末等を活用し、音声録音方式で実施するものである。（設置管理者の判断により学校単位で「話すこと」に関する問題を実施しないこととする可。）令和元年度、本市は全ての中学校で実施した。